

2020年3月25日

## 【R&amp;Iグリーンボンドアセスメント】

こなんウルトラパワー株式会社

こなんウルトラパワーグリーンボンド2号 : GA1 本評価

: セカンドオピニオン

(セカンドオピニオンとは、グリーンボンド原則等への適合性に関する意見です。)

格付投資情報センター(R&I)は上記のR&Iグリーンボンドアセスメント : GA1 (本評価)、セカンドオピニオンを公表しました。

## 【対象債券の概要】

名称	こなんウルトラパワーグリーンボンド2号
発行体	こなんウルトラパワー株式会社
発行額	6000万円 (私募)
R&Iグリーンボンドアセスメント	GA1 (本評価)
発行日	2020年3月25日
発行年限	15年

## 【概要】

こなんウルトラパワーは滋賀県湖南市に2016年5月に設立された官民出資型の地域新電力事業者。「湖南市地域自然エネルギー地域活性化戦略プランに掲げる基本方針」に掲げられた、エネルギー・経済の循環による地域活性化、自立分散型のエネルギー確保、地球温暖化防止への貢献——を実現することを事業目的として電力供給を中心としたエネルギー事業を展開している。

今般グリーンボンドを発行して、湖南市と隣接する竜王町の2市町が保有する小学校と図書館のエネルギー効率化事業 (ESCO事業) に要する資金を調達する。グリーンボンド原則に定められる4要件 (調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポートニング) に対応したグリーンボンドフレームワークを策定した。

## 【R&amp;Iグリーンボンドアセスメント】

R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメントに定める評価方法に従い、グリーンボンドの調達資金が環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高いと判断し、GA1 (本評価) を付与した。

## 【グリーンボンド原則等に適合する旨のセカンドオピニオン】

フレームワークがグリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に則ったものである旨のセカンドオピニオンを提供する。

## 【評価理由】

- ・ 調達資金はESCO事業の枠組みに基づいて照明のLED化と最新の空調設備の導入に充当される。事前のエネルギー診断に基づき消費エネルギーの削減計画が設定され、環境改善効果を見込むことができる。ESCO事業の契約上、設備運営を担う湖南省市と竜王町に省エネルギーのインセンティブが働く仕組みになっており、計画通りの効果が期待できる。設備設置工事に際しては、施設周辺の状況を考慮し、周辺環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために必要な防音等の対策をとる。グリーンボンドの資金使途として妥当である。
- ・ こなんウルトラパワーは地球温暖化防止への貢献を事業目的に掲げている。対象事業の選定において、運営管理受託者であるパシフィックパワーが環境改善効果と環境面・社会面のネガティブな影響について評価しており、適切なプロセスを経ている。
- ・ 資金充当計画は明確に定められおり、パシフィックパワーが調達資金を管理する。専用預金口座で管理するなど適切な管理方法が定められている。
- ・ レポーティングは年に1度、資金充当状況と環境改善効果をホームページに開示する予定である。開示内容はCO2削減量などを予定しており妥当である。
- ・ こなんウルトラパワーは、地域の新電力事業者として再生可能エネルギー導入事業や省エネルギー事業を通じて、地方創生と低炭素社会の実現に積極的に取り組んでいる。対象事業と同様のESCO事業を湖南省内の小中学校数校に実施し、エネルギー消費削減の実績がある。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

## ■ 発行体の概要

こなんウルトラパワーは、2016年5月に設立された官民出資型の地域新電力事業者。出資者は、湖南省、湖南省商工会、甲西陸運、タカヒサ不動産、西村建設、美松電気、滋賀銀行といった地元の自治体や民間企業とパシフィックパワーの計8者から構成される。2015年2月に策定された「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」に掲げる基本方針（エネルギー・経済の循環による地域活性化、自立分散型のエネルギー確保、地球温暖化防止への貢献）を実現することを目的として電力供給を中心としたエネルギー事業を展開している。

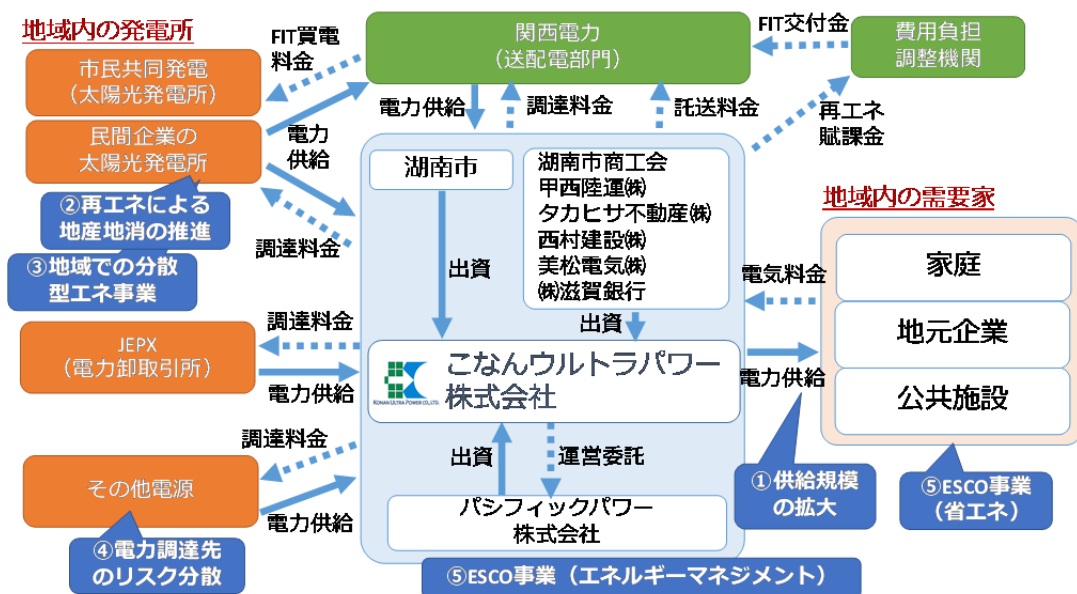
最大の出資者である湖南省とは、相互に連携し、地域の資源を活用した地域活性化の推進に資するため、設立時に包括的連携協定を締結している。市外に流出している電力料金を市内に還流させることでエネルギーと経済の循環を進め、地域経済の活性化につなげることを目的とし、将来的には、電力の小売だけでなく、まちづくりなどの地域振興に関する事業にも取り組んでいくこととしている。湖南省自身でも、2017年4月に「湖南省公共施設地球温暖化対策実行計画（第二期）」を制定し、公共施設の温室効果ガスの排出量削減や電気料金の低減に取り組んでいる。

民間企業の最大出資者であり、発行体の経営管理受託者であるパシフィックパワーは、自治体新電力の立ち上げ支援、地域新電力の運営支援等を行うコンサルティング会社である。自治体新電力が、電力小売事業を通して電力の地産地消を促進し、エネルギーの側面から地方創生を推進することを事業目的としている。2019年8月時点で11社の地域新電力を子会社として立ち上げており、こなんウルトラパワーもその一つである。

地元企業の最大出資者である甲西陸運株式会社は、自社の物流センターの屋根を利用した太陽光発電事業や廃油を原料としたバイオディーゼル燃料精製事業に取り組んでおり、環境改善への取り組みを積極的に推進している企業である。

こなんウルトラパワーはこうした取り組みの一環として、2019年2月にグリーンボンド（私募債）を発行して太陽光発電事業および学校施設のESCO事業の資金を調達した。今般2回目のグリーンボンド発行により、湖南省内の学校施設のESCO事業と合わせて湖南省と連携関係にある竜王町が保有する学校施設と図書館に関するESCO事業に要する資金を調達する。グリーンボンド発行は様々なステークホルダーに対して事業への理解を深めてもらう機会となっている。

## ＜こなんウルトラパワーの事業スキーム＞



## ■グリーンボンドフレームワークの概要

こなんウルトラパワーはグリーンボンド発行に先立ち、グリーンボンド原則の4要件（調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポーティング）に対応するグリーンボンドフレームワークを作成した。概要は以下の通り。

### 1. 調達資金の使途 : Use of Proceeds

- グリーンボンドの調達資金は、以下の事業に充当される。

区分	事業概要	充当割合
エネルギー効率	湖南省に提供するESCO事業 (小学校4校の照明LED化)	40%
	竜王町に提供するESCO事業 (小学校1校の照明LED化、 図書館の照明LED化と空調省エネ化)	60%

#### (ESCO事業の概要)

No.	施設	工事箇所	現状	更新後
1	湖南省立 岩根小学校	①体育館照明 ②職員室等 ③多目的ホール	水銀灯 (400W級) × 31台 蛍光灯 (40W) × 98台 水銀灯 (400W級) × 7台 蛍光灯 (40W) × 46台	LED灯 (400W級) × 19台 LED灯 (40W級) × 98台 LED灯 (400W級) × 7台 LED灯 (40W級) × 46台
2	湖南省立 下田小学校	①体育館照明 ②職員室等	水銀灯 (400W級) × 22台 蛍光灯 (40W) × 84台	LED灯 (400W級) × 22台 LED灯 (40W級) × 84台
3	湖南省立 水戸小学校	①体育館照明 ②職員室等	水銀灯 (400W級) × 44台 蛍光灯 (40W) × 101台	LED灯 (400W級) × 32台 LED灯 (40W級) × 101台
4	湖南省立 三雲小学校	①体育館照明 ②職員室等	水銀灯 (400W級) × 13台 ナリウム灯 (400W級) × 8台 蛍光灯 (40W) × 118台	LED灯 (400W級) × 21台 LED灯 (40W級) × 118台
5	竜王町立 竜王西小学校	①体育館照明 ②職員室等 ③ポール灯	水銀灯 (400W級) × 30台 蛍光灯 (40W) × 72台 ダウンライト (50~90W級) 等 × 14台 ポール灯 × 8台	LED灯 (400W級) × 30台 LED灯 (40W級) × 72台 LEDダウンライト (50~90W級) 等 × 14台 LED灯 × 8台
6	竜王町立 竜王図書館	①館内照明 ②ポール灯 ③館内空調	水銀灯 (400W級) × 90台 蛍光灯 (20~40W) × 192台 ダウンライト (50~90W級) 等 × 153台 ポール灯 × 17台 室内機 × 56台 室外機 × 10台	LED灯 (400W級) × 90台 LED灯 (20~40W級) × 187台 LEDダウンライト (50~90W級) 等 × 153台 LED灯 × 17台 高効率室内機 × 56台 高効率室外機 × 10台

- こなんウルトラパワーは省エネ診断を実施し、その結果を踏まえて上記設備を購入し設置する。湖南省と竜王町はそれぞれこなんウルトラパワーとの契約に基づき、電気代と維持管理費の削減額の計画値を勘案した定額サービス料を一定期間こなんウルトラパワーへ支払う。実際の電気代の削減額が計画値を下回ってもサービス料の減額は行われず、計画値以上の電気代は自治体側の負担となる。契約期間中、こなんウルトラパワーは必要に応じて設備運用に関して自治体に助言し、毎年度末には検証レポートを各自治体に提出する。
- 本事業の実施により、合計で年間102トンのCO2削減効果を見込む。



## 2. プロジェクトの評価と選定のプロセス: Process for Project Evaluation and Selection

- ・ こなんウルトラパワーは、地域新電力事業者として「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」に掲げる基本方針（エネルギー・経済の循環による地域活性化、自立分散型のエネルギー確保、地球温暖化防止への貢献）の実現を事業目的として掲げている。
- ・ 事業の選定は役員が行い、運営管理受託者であるパシフィックパワーが環境改善効果と環境面・社会面のネガティブな影響について評価する。代表取締役2名が参加する社内定例会議で承認を得た上で、株主総会で最終的に決定する。

### 湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランに掲げる基本方針

#### (1) エネルギー・経済の循環による地域活性化の推進

地域固有の資源である自然エネルギーの活用を通して、エネルギーの循環だけでなく、その利益の地域循環や、市民・事業者の交流を促進することにより、地域活性化を推進します。

#### (2) 自立分散型のエネルギー確保

消費地に近い場所で発電等ができる自然エネルギーの特長を活かし、地域主導による自立分散型エネルギーの導入を促進し、市民の暮らしや地域産業を支えるエネルギーの地産地消を推進します。

#### (3) 地球温暖化防止への貢献

これらの取り組みを通じて、持続的発展が可能な社会の実現と地球温暖化防止をはじめとする地球環境保全への貢献を目指します。

## 3. 調達資金の管理: Management of Proceeds

- ・ 湖南省の事業は2020年2月末完了、竜王町は2020年3月着工5月完了を見込み、調達資金を工事進捗に応じて全額充当する。対象事業が中止になるなど計画に変更が生じる場合にはホームページ上で投資家に報告する予定。
- ・ グリーンボンドで調達した資金は発行体の専用預金口座に入金して対象事業のみに充当する。預金残高は四半期ごとに確認する。
- ・ 調達資金の充当に関する証憑文書等は、発行体から経営管理委託を受けたパシフィックパワーの経営管理部が管理する。

## 4. レポーティング: Reporting

- ・ レポーティングは資金充当状況と環境改善効果を年に1回ホームページ上に開示する予定。
- ・ 主な内容は以下の通り。
  - グリーンボンド発行により調達した資金を充当するグリーンプロジェクトの概要
  - グリーンプロジェクトに充当した資金の額
  - グリーンプロジェクトを実施することによって期待される環境改善効果（前提条件や算定方法を含む）
  - 未充当資金がある場合は、その額または割合、充当予定時期、運用方法

## グリーンボンドフレームワークに対する評価（セカンドオピニオン）

R&Iは、こなんウルトラパワーの作成するグリーンボンドフレームワークが、グリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に適合しているか否かの確認を行った。

### 1. 調達資金の使途: Use of Proceeds

グリーンボンドの調達資金は環境問題の解決に資する事業である必要がある。

#### 主な評価の根拠

- ・ フレームワークの内容の確認
- ・ 対象事業の内容の確認

#### 評価

- ・ R&Iは、（1）対象事業から十分な環境改善効果が見込めること、（2）環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされていることを確認し、調達資金の使途は妥当と判断した。
  - （1）対象事業から十分な環境改善効果が見込めること
    - ・ 対象事業における照明LED化により、水銀灯・白熱灯に比べ7～9割程度、蛍光灯に比べ5～7割程度、消費エネルギー削減が見込まれる。竜王町立図書館の空調は設置後30年近く経過しており、省エネ・スケジュール等を集中管理できる最新の高効率設備に入れ替えることにより冷房で2割程度、暖房で1割程度の消費エネルギー削減が見込まれる。
    - ・ 本件のESCO事業は事前のエネルギー診断に基づく電気代の削減額を計画値として、自治体が支払う定額のサービス料が設定される。削減額が計画値に満たない、すなわち実際の電力消費が計画値を上回った場合には、自治体が超過分の電気代を負担する契約となっているため、計画に基づいた省エネルギー効果を期待できる仕組みとなっている。
  - （2）環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされていること
    - ・ 設備設置工事に際して施設周辺の状況を考慮し、周辺環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために必要な防音等の対策をとる。

以上より、本フレームワークにおける調達資金の使途は、グリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に適合していると判断した。

### 2. プロジェクトの評価と選定のプロセス: Process for Project Evaluation and Selection

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資されるためには、発行体がなぜ対象事業を環境問題に資する事業であると考え、どのようにして選定したのかというプロセスが、明確かつ合理的である必要がある。

#### 主な評価の根拠

- ・ フレームワークの内容の確認

## 評価

- ・ こなんウルトラパワーは地球温暖化防止への貢献を事業目的に掲げている。
- ・ 対象事業の選定において、運営管理受託者であるパシフィックパワーが環境改善効果と環境面・社会面のネガティブな影響について評価しており、適切なプロセスを経ている。
- ・ こなんウルトラパワーの事業目的は「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」に掲げる基本方針の実現を企図しているが、湖南省と連携関係にある竜王町の事業に関しても事業目的に沿うものとして社内合意を得ている。

以上より、本フレームワークにおける対象事業の選定のプロセスは、グリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に適合していると判断した。

### 3. 調達資金の管理: Management of Proceeds

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資されるためには、調達資金が他の事業に使われず、確実に対象事業に充当される必要がある。

## 主な評価の根拠

- ・ フレームワークの内容の確認

## 評価

- ・ フレームワークの概要に記載の通り、資金充当計画は明確である。
- ・ 調達資金の管理はパシフィックパワーに委託することにより適切な体制が整えられている。
- ・ 調達資金を専用預金口座で管理するなど適切な管理方法が定められている。

以上より、本フレームワークにおける調達資金管理の方針は、グリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に適合していると判断した。

### 4. レポートニング: Reporting

グリーンボンドの調達資金が、調達後環境問題の解決に資する事業に投資されたことが明らかとなるためには、どのような事業にいつ充当され、その結果どのような環境改善効果があったかを、発行体がレポートニングすることが期待される。

## 主な評価の根拠

- ・ フレームワークの内容の確認

## 評価

- ・ 発行時にフレームワークの概要が開示される。
- ・ 期中のレポートニングは年に1度、資金充当状況と環境改善効果をホームページに開示する予定である。開示内容はCO2削減量などを予定しており妥当である。

以上より、本フレームワークにおけるレポーティングは、グリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に適合していると判断した。

## ＜総合評価＞

R&Iは、フレームワークが、グリーンボンド原則2018及び環境省のグリーンボンドガイドライン2017年版に適合していると判断した。

## ■ 本グリーンボンドに対する評価

R&Iは、R&Iグリーンボンドアセスメントの評価方法に則り、グリーンボンドにおいて予定されている発行額や期間、具体的な対象事業の内容や充当スケジュール等が、フレームワークに則ったものとなっているか確認を行った。また、フレームワークの内容やグリーンボンドにおける具体的な対応の内容を踏まえ、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する評価を行った。

### 1. 調達資金の使途: Use of Proceeds

- ・ グリーンボンドの対象事業はフレームワークに定められたものである。
- ・ R&Iは、フレームワークに対する評価と同様に（1）資金充当対象事業から十分な環境効果が見込めること、（2）環境面および社会面における潜在的にネガティブな効果への配慮がなされていることについて確認を行い、グリーンボンドの資金使途が、環境問題の解決に資する程度が優れていると判断した。

### 2. プロジェクトの評価と選定のプロセス: Process for Project Evaluation and Selection

- ・ グリーンボンドの対象事業はフレームワークに基づき選定されており、評価と選定のプロセスは明確かつ合理的で優れている。

### 3. 調達資金の管理: Management of Proceeds

- ・ グリーンボンドの調達資金が対象事業専用の預金口座で管理されるなど、フレームワークに基づき適切に管理することが定められており、特に優れている。

### 4. レポーティング: Reporting

- ・ グリーンボンドのレポーティングはフレームワークに基づいて行われることとなっており、内容、頻度の面から優れている。

### 5. 発行体の環境活動

グリーンボンドの調達資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度は、発行体の環境活動への取り組み姿勢や取り組み実績が影響すると考えられる。環境活動に関心が高く実績のある発行体の方が調達資金を環境問題の解決に資する事業に充当し、遂行する可能性が高いと考えるためである。

- ・ こなんウルトラパワーは、地域の新電力事業者として地域の環境方針や戦略に基づき、再生可能エ



エネルギー導入事業や省エネルギー事業を通じて、地方創生と低炭素社会の実現に積極的に取り組んでいる。中長期的には、電力供給規模の拡大、地域の再生可能エネルギー調達の拡大、地域での保有電源の確保（分散型エネルギー事業）、ESCO事業の本格化（公共施設・民間施設の省エネ、エネルギーマネジメントサービスをESCOスキームで展開）などに取り組む方針としている。

- 出資者は、環境活動に積極的な自治体や民間企業から構成されている。
  - 最大出資者である湖南省は、地球温暖化対策実行計画を制定し、公共施設の温室効果ガスの排出量削減や電気料金の低減に取り組んでおり、環境対策を積極的に推進する自治体である。
  - 民間企業の最大出資者であり発行体の経営管理受託者であるパシフィックパワーは、低炭素化の担い手となる自治体新電力の立ち上げ支援、地域新電力の運営支援等を行うコンサルティング会社として複数の実績を有している。
  - 地元企業の最大出資者である甲西陸運は、自社の物流センターの屋根を利用した太陽光発電事業や廃油を原料としたバイオディーゼル燃料精製事業に取り組んでおり、環境改善への取り組みを自社でも積極的に推進する出資者から構成されている。
- こなんウルトラパワーは対象事業と同様のESCO事業を湖南省内の小中学校数校に実施し、エネルギー消費削減の実績がある。

## ＜総合評価＞

R&Iは各項目の評価を基に総合評価を行い、評価対象のグリーンボンドの調達資金が環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高いと判断し、GA1（本評価）を付与した。各項目における評価は、以下の通りである。

### 【項目別評価】

各項目を5段階で評価し、（最上位）から（最下位）で表示している。

項目	評価	概要
調達資金の使途		対象事業は、十分な環境改善効果が見込めるほか、環境面における潜在的にネガティブな効果に配慮がなされる。環境問題の解決に資する程度が優れている。
プロジェクトの評価と選定のプロセス		グリーンボンドのプロジェクトの評価と選定のプロセスは、明確かつ合理的であり、優れている。
調達資金の管理		グリーンボンドの調達資金が対象事業専用の預金口座で管理されるなど、グリーンボンドの調達資金の管理方法は適切に定められており、特に優れている。
レポート		グリーンボンドのレポート方針は、内容、頻度の面から優れている。
発行体の環境活動		地域の環境方針・戦略に基づく事業目的を掲げ、これに則った環境活動を積極的に推進している。発行体の環境活動への取組み姿勢は、優れている。

R&Iグリーンボンドアセスメントの評価方法は以下のホームページに公開されています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html>

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。R&Iグリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものであるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとします）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

R&Iが評価対象の評価に用いる評価方法は、R&Iが独自の分析、研究等に基づいて作成したR&Iの意見の表明にすぎず、R&Iは、評価方法の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。また、R&Iは、評価方法の開示によって、いずれかの者の投資判断や財務等に関する助言を行い、又は投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、評価方法の内容、使用等に関して使用者その他の第三者に発生する損害等につき、請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、何ら責任を負いません。評価方法に関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

## グリーンボンド／グリーンボンド・プログラム

### 独立した外部レビューフォーム

#### セクション 1. 基本情報

発行体名：こなんウルトラパワー株式会社

グリーンボンドの ISIN 又は 発行体のグリーンボンド発行に関するフレームワーク名（該当する場合）：

独立した外部レビュー実施者名：格付投資情報センター

本フォーム記入完了日：2020年3月25日

レビュー発表日：2020年3月25日

#### セクション 2. レビュー概要

##### レビュー範囲

必要に応じて、レビューの範囲を要約するために以下の項目を利用又は採用する。

本レビューでは、以下の要素を評価し、グリーンボンド原則（以下、GBP）との整合性を確認した：

- |   |   |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の使途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定のプロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 調達資金の管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング           |

##### 独立した外部レビュー実施者の役割

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> セカンドオピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                            |
| <input type="checkbox"/> 検証                   | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/レーティング（格付け） |
| <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）：        |  |

注記：複数のレビューを実施又は異なる複数のレビュー実施者が存在する場合、それぞれ別々の用紙にご記入ください。

Latest update: June 2018

レビューのエグゼクティブサマリーおよび/またはレビュー全文へのリンク (該当する場合)

**【R&I グリーンボンドアセスメント】**

R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに定める評価方法に従い、本グリーンボンドの調達資金が環境問題の解決に資する事業に投資される程度が非常に高いと判断し、GA1 (本評価) を付与した。

**【グリーンボンド原則等に適合する旨のセカンドオピニオン】**

また、グリーンボンドフレームワークがグリーンボンド原則 2018 及び環境省のグリーンボンドガイドライン 2017 年版に則ったものである旨のセカンドオピニオンを提供する。

レビュー全文は、本リリースの本文を参照。

### セクション 3. レビュー詳細

レビュー実施者には可能な限り以下の情報を提供し、レビュー範囲を説明するためにコメントセクションを利用するよう推奨する。

#### 1. 調達資金の使途

セクションに関する全般的なコメント (該当する場合) :

<フレームワークについて>

R&I は、(1) 対象事業から十分な環境改善効果が見込めること、(2) 環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされていることを確認し、調達資金の使途は妥当と判断した。

(1) 対象事業から十分な環境改善効果が見込めること

- 対象事業における照明LED化により、水銀灯・白熱灯に比べ7~9割程度、蛍光灯に比べ5~7割程度、消費エネルギー削減が見込まれる。竜王町立図書館の空調は設置後30年近く経過しており、省エネ・スケジュール等を集中管理できる最新の高効率設備に入れ替えることにより冷房で2割程度、暖房で1割程度の消費エネルギー削減が見込まれる。
- 本件のESCO事業は事前のエネルギー診断に基づく電気代の削減額を計画値として、自治体が支払う定額のサービス料が設定される。削減額が計画値に満たない、すなわち実際の電力消費が計画値を上回った場合には、自治体が超過分の電気代を負担する契約となっているため、計画に基づいた省エネルギー効果を期待できる仕組みとなっている。

(2) 環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされていること

- 設備設置工事に際して施設周辺の状況を考慮し、周辺環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために必要な防音等の対策をとる。

以上より、調達資金の使途は、グリーンボンド原則 2018 及び環境省のグリーンボンドガイドライン 2017 年版に適合していると判断した。



<本グリーンボンドについて>

- ・ グリーンボンドの対象事業はフレームワークに定められたものである。
- ・ R&Iは、フレームワークに対する評価と同様に（１）資金充当対象事業から十分な環境効果が見込めること、（２）環境面および社会面における潜在的にネガティブな効果への配慮がなされていることについて確認を行い、グリーンボンドの資金使途が、環境問題の解決に資する程度が優れていると判断した。

GBP による調達資金の使途カテゴリ：

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー   | <input checked="" type="checkbox"/> エネルギー効率      |
| <input type="checkbox"/> 汚染防止および管理   | <input type="checkbox"/> 生物自然資源および土地利用に係る環境持続型管理 |
| <input type="checkbox"/> 陸上および水生生物の多様性の保全  | <input type="checkbox"/> クリーン輸送                  |
| <input type="checkbox"/> 持続可能な水資源および廃水管理   | <input type="checkbox"/> 気候変動への適応                |
| <input type="checkbox"/> 高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術およびプロセス                                 | <input type="checkbox"/> グリーンビルディング（環境配慮型ビル）     |
| <input type="checkbox"/> 発行時には知られていなかったが現在 GBP カテゴリへの適合が予想されている、又は、GBP でまだ規定されていないその他の適格分野 | <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）：           |

GBP の事業区分に当てはまらない場合で、環境に関する分類がある場合は、ご記入ください：

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地 テラスクエア <https://www.r-i.co.jp>

R&I グリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見であり、事実の表明ではありません。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&I グリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。R&I グリーンボンドアセスメントは、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメントに際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&I は、R&I グリーンボンドアセスメント（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。R&I グリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき <https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

セクションに関する全般的なコメント（該当する場合）：

<フレームワークについて>

- ・ こなんウルトラパワーは地球温暖化防止への貢献を事業目的に掲げている。
- ・ 対象事業の選定において、運営管理受託者であるパシフィックパワーが環境改善効果と環境面・社会面のネガティブな影響について評価しており、適切なプロセスを経ている。
- ・ こなんウルトラパワーの事業目的は「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」に掲げる基本方針の実現を企図しているが、湖南省と連携関係にある竜王町の事業に関しても事業目的に沿うものとして社内合意を得ている。

以上より、対象事業の選定のプロセスは、グリーンボンド原則 2018 及び環境省のグリーンボンドガイドライン 2017 年版に適合していると判断した。

<グリーンボンドについて>

- ・ グリーンボンドの対象事業はフレームワークに基づき選定されており、評価と選定のプロセスは明確かつ合理的で優れている。

### 評価と選定

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 十分な発行体の環境面での持続可能性に係る目標がある            | <input checked="" type="checkbox"/> 文書化されたプロセスにより、定義された事業区分にプロジェクトが適合すると判断される      |
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの適格プロジェクトを定義した透明性の高いクライテリアがある | <input checked="" type="checkbox"/> 文書化されたプロセスにより、プロジェクトに関連する潜在的な ESG リスクは特定・管理される |
| <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定のためのクライテリアの概要が、公表される     | <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）：   |

### 責任およびアカウンタビリティに関する情報

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 外部機関の助言または検証を受けた評価／選定基準である | <input checked="" type="checkbox"/> 組織内で定められた評価基準である |
| <input type="checkbox"/> その他（ご記入ください）：              |  |

### 3. 調達資金の管理

セクションに関する全般的なコメント（該当する場合）：

<フレームワークについて>

- ・ フレームワークの概要に記載の通り、資金充当計画は明確である。
- ・ 調達資金の管理はパシフィックパワーに委託することにより適切な体制が整えられている。
- ・ 調達資金を専用預金口座で管理するなど適切な管理方法が定められている。

以上より、調達資金管理の方針は、グリーンボンド原則 2018 及び環境省のグリーンボンドガイドライン 2017 年版に適合していると判断した。

<グリーンボンドについて>

- ・ グリーンボンドの調達資金が対象事業専用の預金口座で管理されるなど、フレームワークに基づき適切に管理することが定められており、特に優れている。

調達資金の追跡管理：

- グリーンボンドの調達資金は、発行体により適切な方法で分別又は追跡管理される
- 未充当資金について、想定される一時的な運用方法の種類が開示される
- その他（明記ください）：

追加的な開示：

- 将来の投資にのみ充当
- 個別単位の支出に充当
- 未充当資金のポートフォリオを開示する
- 既存および将来の投資に充当
- ポートフォリオ単位の支出に充当
- その他（ご記入ください）：

#### 4. レポーティング

セクションに関する全般的なコメント（該当する場合）：

<フレームワークについて>

- ・ 発行時にフレームワークの概要が開示される。
- ・ 期中のレポーティングは年に1度、資金充当状況と環境改善効果をホームページに開示する予定である。開示内容はCO2削減量などを予定しており妥当である。

以上より、レポーティングは、グリーンボンド原則 2018 及び環境省のグリーンボンドガイドライン 2017 年版に適合していると判断した。

<グリーンボンドについて>

- ・ グリーンボンドのレポーティングはフレームワークに基づいて行われることとなっており、内容、頻度の面から優れている。

調達資金の使途に関するレポーティング：

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト単位 | <input type="checkbox"/> プロジェクトポートフォリオ単位 |
| <input type="checkbox"/> 個別債券単位              | <input type="checkbox"/> その他（明記ください）：    |

レポーティングされる情報：

- |  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 充当した資金の額 | <input type="checkbox"/> 投資総額に占めるグリーンボンドによる調達額の割合 |
| <input type="checkbox"/> その他（明記ください）：        |   |

頻度：

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年次 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他（明記ください）：  |                                |

環境改善効果に関するレポーティング：

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト単位 | <input type="checkbox"/> プロジェクトポートフォリオ単位 |
| <input type="checkbox"/> 個別債券単位              | <input type="checkbox"/> その他（明記ください）：    |

頻度：

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年次 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他（明記ください）：  |                                |



レポートされる情報（計画又は実績）：

- 温室効果ガス排出量／削減量       エネルギー削減量  
 水使用量の減少       その他 ESG 指標（明記ください）：

開示方法

- 財務報告書に掲載       サステナビリティ報告書に掲載  
 臨時に発行される文書に掲載       その他（明記ください）：ウェブサイト  
 レポートは外部レビュー済（該当する場合は、レポートのどの部分が外部レビューの対象であるか明記してください）：

該当する場合は、「有益なリンク」のセクションに、報告書の名称、発行日を明記してください。

有益なリンク（例えば、レビュー実施者の評価方法や実績、発行体の文書等。）

R&I グリーンボンドアセスメント評価方法  
<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html>

該当する場合は、利用可能なその他外部レビューをご記入ください  
実施されるレビューの種類：

- セカンドオピニオン       認証  
 検証       スコアリング/レーティング（格付け）  
 その他（ご記入ください）：

レビュー実施者：

発表日：

## GBP で定義された独立した外部レビュー機関の役割について

- (i) セカンドオピニオン：発行体の支配下でない環境面の専門性を有する機関がセカンドオピニオンを提供する。オピニオンの提供者は発行体のグリーンボンドフレームワーク構築のためのアドバイザーから独立しているべきである。そうでなければ情報隔壁を設けるなど、セカンドオピニオンの独立性を確保するための措置をとることになる。オピニオンは通常はGBPへの適合性評価を基本とする。特に環境面での持続可能性に関する包括的な目標、戦略、方針、プロセスの評価と、調達資金を充当するプロジェクトの種類に応じた環境面の特徴に対する評価を含むことができる。
- (ii) 検証：発行体は、事業プロセスや環境基準などに関連づけて設定する基準に対して独立した検証を受けることができる。検証は、内部基準や外部基準あるいは発行体が作成した要求との適合性に焦点を当てるものになる。また原資産の環境面での持続可能性に係る特徴についての評価を検証と称し、外部クライテリアを参照することがある。さらにグリーンボンドで調達される資金の内部追跡管理方法とその資金の充当状況、環境面での影響、GBPのレポートティングとの適合性に関する保証や証明も検証と呼ぶことがある。
- (iii) 認証：発行体は、グリーンボンドやそれに関連するグリーンボンド・フレームワーク、または調達資金の用途について、一般に認知されているグリーン基準やグリーンラベルへの適合性に係る認証を受けることができる。グリーン基準やグリーンラベルは具体的なクライテリアを定義したもので、通常は認証クライテリアとの適合性を、検証などの手法を用いて、資格認定された第三者機関が確認する。
- (iv) スコアリング/レーティング（格付け）：発行体は、グリーンボンド、それに関連するグリーンボンド・フレームワーク、調達資金の用途などの特徴について、専門的な調査機関や格付機関の資格を有する第三者機関から、それぞれの機関が確立した評価手法に基づく査定や評価を受けることができる。評価結果には、環境面のパフォーマンスデータ、GBPに関連するプロセス、2°C目標のようなベンチマークなどに焦点を当てたものが含まれることがある。このようなスコアリングや格付は、信用格付（たとえその中に重要な環境面のリスクが反映されているとしても）とはまったく異なったものである。